

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	14	事業名	政策要望の実施			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	加藤慎也	施策コード	7	施策名	関係機関との連携強化による課題解決力の向上		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

社会経済情勢や消費者ニーズは日々急速に変化しており、事業者に対して実効性の高い具体的な解決策を提案するなど、質の高い個社支援を展開する必要がある。そのため、関係機関との連携をこれまで以上に強化し、商工会における課題解決力の向上を図る必要がある。

2. 事業のねらい

立案した政策について、必要性や緊急性等を勘案した上で、県や全国連等の支援が必要なものは政策要望を実施し、施策への反映及び事業化を目指す。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	B	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

政策要望している内容全てについて協議会及び研究会の設置・開催は困難であるが、日本政策金融公庫や東北税理士会等の関係機関との協議など、政策要望の実施に反映させる内容もあり、B評価としている。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

ICTガイドライン策定のために有識者による研究会を立上げ、計5回開催し、ガイドラインの完成に至った。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
29	検討結果の活用	昨年連携した関係機関との金融支援や税務支援の協議会開催に加え、JETRO秋田等との海外展開、ICT活用に向けた検討を実施し取り組むことができた。	a	a	c	B
30	政策要望の実施	政策立案会議・研究会の内容を反映した政策要望の実施目標5件に対して、必要性や緊急性を勘案した上で県に「5件」の政策要望を実施した。	a	a	b	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	30					取組コード						取組コード					
指標名	政策要望件数					指標名						指標名					
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標	3	5	5	5	5	目標						目標					
実績	4	5				実績						実績					
達成率	133%	100%				達成率						達成率					
達成度	a	a				達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

金融や税務、ICTなどの課題に対し、関係機関・有識者との協議を進めることができた。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

関係機関や有識者との協議を重ね、政策要望やICTガイドラインの策定に至った。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

重要テーマを選定し、年間を通じて計画的に実施する必要がある。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

重要テーマに関し、政策要望やICTガイドラインの策定に至ったことで、一定の成果が得られた。

3. 課題

研究会での検討を経てICTガイドラインは作成できたが、政策立案会議を開催しておらず、政策要望を取りまとめることができなかった。

4. 今後の対応方針(改善点)

地区別意見交換会等から要望事項を集約し、全県大会での決議を経て、国(国会議員・中小企業庁)、県、全国連等に対して支援が必要な事項についての政策要望を実施し、施策への反映や事業化を目指す。